

議事録

| | | | |
|------------------------------|---|----------------|---|
| 日時：平成23年12月20日（火）14：00～17：00 | | 会場：地盤工学会3階中会議室 | |
| 部長 村田 芳信 | ○ | 理事 荒瀬 義則 | × |
| 副会長 岸田 隆夫 | ○ | 部員 王 林 | × |
| 部員 中野 正樹 | ○ | 部員 竹山 智英 | ○ |
| 部員 渡邊 康司 | ○ | 部員 秦 樹一郎 | × |
| 部員 榎井 一昭 | ○ | オブザーバー 李 圭太 | × |
| オブザーバー 熊谷 隆宏 | × | オブザーバー 原 忠 | × |
| | | 事務局 永田 満枝 | ○ |
| | | 事務局 廣松 さおり | ○ |

報告・確認事項

事業部

1. 議事録者の指名……(別紙-1)
2. 前回議事録の確認：事業部会（10/25）……(別紙-2)
3. 平成23年度事業部収支報告（23年11月末現在）……(別紙-3）（別添資料-1）

出版企画委員会

1. 前回議事録の確認（12/9）……(別紙-4)
2. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(別添資料-2)
3. アカデミックロードマップと発展史・人物史について……(別紙-5)
4. セット de お得の実施について

技術普及委員会

1. 前回議事録（議題書）の確認（12/19）……(別紙-6)
2. オンデマンド講習会WG報告……(別紙-7)
3. コース制WG報告

審議事項

出版企画委員会

1. 既刊本見直し評価について……(別紙-8)

技術普及委員会

1. 平成23年度講習会開催計画……(別紙-9）（別添資料-3）

事業部

1. 平成24年度予算・事業計画について……(別紙-10）（別添資料-4）
2. 「事業企画賞」（第14回）について……(別紙-11)
3. 今後の事業部のあり方について……(別紙-12)
4. その他

1. ショッピングカートの改修について

- ・事務局から、各支部へのショッピングカート改修作業への意見・要望をメールで問い合わせたが特段、意見・要望は無かった。そのため、いまの計画でショッピングカートの改修を進める。
- ・なお、各支部の出版物の販売申し込みコーナーを設けることにより、支部の出版物との情報共有ができる。また、ショッピングカートの販売図書を分析することで、売れ筋がわかる。などの意見があった。

2. 既刊本の見直しについて

- ・出版企画委員会が提示した案が了承された。

3. 年度末までの講習会・講演会の予定について

- ・4つの講習会と1つの講演会が事務局から紹介された。
- ・このうち、「災害廃棄物と放射性物質汚染土壌の処理・処分講演会」は、公共性が高く、行政機関の職員にも参加して頂くための方法を検討する。会議では、その方法として、以下のような意見が出た。
- ・講演会の案内を地盤工学会のホームページの目立つ位置に掲載する、メーリングリストを配信する。
- ・基礎工に広告をいれる（7万円程度の費用がかかる）
- ・行政機関の職員の参加は関東支部の県グループを使い広報する。
- ・関東支部管轄の非会員（行政関連）参加費用の一部を肩代わりし、会員価格程度（3000円）の講演会費とする。この件については、関東支部の菊池幹事長に相談する。

4. 今後の事業部のあり方

- ・事業部は、公益法人化にともない組織と運用上の観点から公1（出版企画委員会）、公3（技術普及委員会）に分かれた。公益性と収益性を考慮した「(仮称)事業検討委員会」の設立が必要となる。会議では、「(仮称)事業検討委員会」の役割について以下のような意見があった。
- ・現状の出版企画委員会と技術普及委員会の情報共有・調整機能だけではなく、たとえば、技術基準委員会など他の委員会との情報共有・調整も含める。
- ・また、他の委員会が出版する書籍に収益性の観点からアドバイスをする。
- ・ショッピングカートやCPDの記録から会員の意向を分析し、出版、講習会のテーマの参考にする。
- ・理事会の意向を受け出版物、講習会の戦略をねる。また、支部との出版物に対する調整、BCP、復刻版の取り扱いの検討についても、役割の1つと考えたらどうか。
- ・事業部長が、「(仮称)事業検討委員会」の役割等を作成し、各部員にメール配信し、意見を求める。2月の次回事業部会で再度、今後の事業部のあり方について討議する。
- ・今後の予定は、準備委員会を設立し、今後、動く組織をつくり、6月の総会で定款を変える。

5. 山留めの創意工夫となるほど納得Q&Aの販売促進について

- ・講習会終了後、本の売れ行きが悪い。販売促進のため事務局から以下の方策が説明された。
- ・チラシに内容がわかるように詳細な目次を入れた。
- ・職場班あてに学会誌送付時にチラシを封入する予定である。
- ・平成24年6月ごろ、山留めの講習会を開催する予定である。

6. アカデミックロードマップと発展史・人物史について

- ・上記、委員会は20程度の数を想定している。委員会の調整は、出版企画委員会での対応は物理的に無理である。このため、この件については、次回の「アカデミックロードマップと発展史・人物史」準備委員会で、事業部長が委員会の調整をどこが行うかなどの意見を出し、準備会議で議論して頂く。

7. 講習会のコース制について

- ・事務局から以下の報告があった。ここ3年で、3名の受講修了者がいた。修了書を3名に発行し、2月の学会誌およびホームページに修了者名を掲載する。また、ワーキングを立ち上げ受講者を増やすための方策の見直しを行う。

8. 平成24年度予算について

・事業部から提出した一次案について、総務部からの指摘事項について、事務局から説明があった。この指摘を受け、編集準備委員会費および増刷費の見直しを行う。増刷部数は、出版企画委員会で検討する。

9. 講習会のテキストの取り扱いについて

- ・現在、ショッピングカートに掲載されている講習会のテキストは、著作権が明確でないため、ショッピングカートのリストから外す。
- ・地盤に関する解析技術（個別要素法）講習会資料は、技術普及委員会で出版の承諾を講師の前田先生から得ている。このため出版企画委員会で、出版物としての収益性などを検討、出版するかどうか判断する。

10. 事業企画賞について

・事業部員による候補者案の決定は2月の事業部会で行うとの報告が事務局からあった。

●次回以降理事会開催日……(別紙-13)

●次回理事会（12/22：書面会議）への提案事項の確認

・報告事項

平成23年度事業部収支報告（23年11月末現在）

既刊本見直し評価について

平成23年度講習会開催計画

★次回開催日：平成24年2月24日（金）地階A会議室 14:00～17:00

以上